

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 有害大気汚染物質調査事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称						
章	2	自然とともに暮らすまち						
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる						
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築						
小分類	2	環境保全活動の推進						
主要な施策	4	公害監視体制の強化						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f8d7da;">事務事業コード</td> <td>21124002</td> <td style="background-color: #f8d7da;">事業開始年度</td> <td>平成 1 1 年度</td> <td style="background-color: #f8d7da;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	21124002	事業開始年度	平成 1 1 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	21124002	事業開始年度	平成 1 1 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	有害大気汚染物質調査委託
------	------	------------	--------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのある、ダイオキシン類の汚染状況を調査し、市民の健康の保護を図ることを目的とする。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 大気中のダイオキシン類測定分析調査を 2 回 / 年実施する 測定場所：幌別中学校グラウンド 測定項目：ダイオキシン類
成果	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 大気中の汚染で、人の健康に係る被害が生じないよう、大気汚染状況のデータを継続して把握し、生活環境の保全を図る。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 大気汚染防止法、登別市環境基本条例、登別市公害防止条例

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	462	462	462	462	462	1,386
合 計			462	462	462	462	462	1,386
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	139	143			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		139	143			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 大気中の環境基準の達成状況を調査し、人の健康の保護及び生活環境の保全に努める。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 測定結果は、基準値の範囲内である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 測定結果について、公表し市民の環境に対する関心を高める。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 環境測定については、専門知識や高度な測定機器等が必要であることや最低限の調査回数確保が必要であることから、これ以上調査内容を縮小することは難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	モニタリング調査を実施することにより、現状を把握し、結果を公表することで住民への環境保全への意識の向上を図る。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）